（別記）

令和８年度南会津町農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

１　地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

南会津町は、福島県の南西部に位置し、総面積 886.47k ㎡と県内で二番目となる広大な面積を有している。耕地の多くが標高 520m～920m に分布する中山間地域であり、年平均気温は９℃前後と夏はしのぎやすく、冬は多くの積雪に覆われる寒冷度の厳しい特別豪雪地帯となっている。

町内の水田面積のうち主食用米の作付面積が５割以上を占めており、水稲を中心とした農業経営が行われている。園芸作物では、「南郷トマト」、「会津田島アスパラ」の名称で地域団体商標に登録されているトマトやアスパラガスなどの野菜、りんどう、宿根かすみそう、スターチス、カラーなどの花き類が栽培されており、Ｉ・Ｕターンによる新規就農者が増加している。土地利用型作物では、農業法人を中心にそばが栽培されている。

有害鳥獣による被害で、単収低下が深刻な問題となっていたが、近年は補助事業を活用した電気柵や複合柵の整備が進み、被害対策として一定の効果を上げている。

農業従事者の高齢化により離農者が増加している中、遊休農地の拡大を防ぐためにも担い手へ農地の集積・集約を図っているが、担い手の高齢化も進みつつあるため、次世代の担い手の育成・確保が重要となっている。

２　高収益作物の導入や転換作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

（１）適地適作の推進

そば、大豆については、排水対策が重要であることから、ほ場の条件等を検討し、適したほ場での作付を推進する。

（２）収益性・付加価値の向上

当町では、重点振興作物として、野菜（トマト、アスパラガス）、花き（りんどう、宿根かすみそう、スターチス、カラー）の栽培を推進しており、トマトとアスパラガスについては、地域団体商標に登録し、それぞれ「南郷トマト」、「会津田島アスパラ」として市場から高い評価を得ている。

しかしながら、生産者の高齢化による離農と、新規に取組む農業者が少ないことから、栽培面積の減少が危惧されており、産地の維持・拡大に向けた取組を推進する必要がある。推進に当たり、作付の定着化を進めていくため畑地化促進事業の活用の推進を図ることとする。

３　畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

（１）地域の農業の在り方

町内の約 1,513ha（不作付地も含む。）の水田について、適地適作を基本とし、山間高冷地の立地条件を活かして水稲を基幹作物としながらも、すでに産地化されている園芸作物は、産地交付金や畑地化促進事業の活用を周知し、産地生産の維持・拡大を図る。

また、担い手に集積された農地での水稲作付については、今後も引き続き主食用米の需要動向等の情報収集・提供を行いながら必要に応じて非主食用米（飼料用米、WCS 用稲等）への転換を図り、定着に向けて多収品種の導入を含めて促進する。

（２）水田の利用状況の点検方針・点検結果を踏まえた対応方針

野菜・花き等の高収益作物が定着している農地については、個人の経営状況を踏まえ畑地化を推進する。

そば・大豆等の土地利用型作物については、排水対策を行っており、実際に水張を行うのは厳しい状況であるため、畑地化を行い産地の維持を図る。

４　作物ごとの取組方針等

（１）主食用米

需給動向を正確に伝え、需要に応じた生産を推進する。耕作者の高齢化も進みつつあるため、地域の担い手となる農家や農業法人を中心に農地の集積を図る。

（２）備蓄米

大規模農業者を中心に取組を推進する。また、認定方針作成者（ＪＡ等）と生産者の連携を強化し取組の維持・拡大を図る。

（３）酒造好適米

酒造好適米の産地生産力の維持・拡大を図るために、生産者・集荷業者と連携し、生産性向上に取り組む農家を支援し、作付を推進する。

（４）非主食用米

ア　飼料用米

これまでに主食用米からの大規模な転換を進めてきたが、年々作付面積を減らしている状況である。今後に向けた取組として、２ha 以上の作付要件をなくすことで、飼料米の取組件数の増加、作付面積の拡大・産地の維持を図る。

イ　米粉用米

該当なし

ウ　新市場開拓用米

該当なし

エ　WCS 用稲

耕畜連携を軸に平成 29 年度から WCS 用稲の栽培が続いており、稲作農家と畜産農家の生産体制を構築している。耕畜連携の定着化に向けて産地交付金を活用し取組を助成する。

オ　加工用米

該当なし

（５）麦、大豆、飼料作物

麦については該当なし。大豆については、大規模農業者、集落営農組織及び農業生産法人への導入を図り、制度を有効に活用した取組を行う。飼料作物については、畜産農家との結びつきを構築及び強化し、作付けの推進を図る。

（６）そば、なたね

そばについては、古くから産地として栽培されており、町内の需要も多いことから土

地利用型作物として定着している。
　遊休農地対策として作付けされていることもあり、作付けの維持・拡大のため産地交付金や畑地化促進事業の活用を推進する。
　なたねについては該当なし。

（７）地力増進作物
　地力増進作物の導入により、連作障害の回避や土壌の改良による生産性向上を図る。

（８）高収益作物
　ア　野菜
　　当町ではトマト、アスパラガスを中心に栽培に取り組んでおり、それぞれ「南郷トマト」、「会津田島アスパラ」といったブランドで生産・販売している。認定農業者や農業法人が多く取り組んでおり、安定した収量と高品質な物が生産されている。各関係機関と連携し、産地のさらなる拡大を図る。

　イ　花き
　　当町では、りんどう、宿根かすみそう、スターチス、カラーを中心に栽培している。産地交付金や畑地化促進事業の活用を促進し、産地の維持・拡大を図る。

　ウ　その他
　　小豆やえごま等の作付けを行っている農業者もいるが、生産が減少傾向にあるため取組を推進し、生産の拡大を図る。

５ 作物ごとの作付予定面積等

（単位:ha）

作物等	前年度作付面積等		当年度の作付予定面積等		令和８年度の作付目標面積等	
		うち二毛作		うち二毛作		うち二毛作
主食用米	934.44	0.00	885.88	0.00	885.88	0.00
備蓄米	0.00	0.00	2.00	0.00	2.00	0.00
酒造好適米	0.00	0.00	45.12	0.00	45.12	0.00
飼料用米	0.19	0.00	1.00	0.00	1.00	0.00
米粉用米	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
新市場開拓用米	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
WCS用稲	28.85	0.00	28.85	0.00	32.00	0.00
加工用米	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
麦	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
大豆	2.77	0.00	2.77	0.00	5.00	0.00
飼料作物	0.23	0.00	0.23	0.00	10.00	0.00
・子実用とうもろこし	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
そば	11.16	0.00	11.16	0.00	15.00	0.00
なたね	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
地力増進作物	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
高収益作物	36.00	0.00	36.00	0.00	37.75	0.00
・野菜	27.29	0.00	27.29	0.00	28.00	0.00
うち重点振興作物	25.81	0.00	25.81	0.00	26.00	0.00
うち重点振興作物外	1.48	0.00	1.48	0.00	2.00	0.00
・花き・花木	8.55	0.00	8.55	0.00	9.50	0.00
うち重点振興作物	7.49	0.00	7.49	0.00	8.00	0.00
うち重点振興作物外	1.06	0.00	1.06	0.00	1.50	0.00
・果樹	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
・その他の高収益作物	0.16	0.00	0.16	0.00	0.25	0.00
うち重点振興作物	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
うち振興作物	0.16	0.00	0.16	0.00	0.25	0.00
その他	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
畑地化	157.40	0.00	181.59	0.00	181.59	0.00

６ 課題解決に向けた取組及び目標

整理番号	対象作物	使途名	目標	前年度（実績）	目標値
1	野菜（トマト、アスパラガス） （基幹作物）	重点振興作物 産地維持推進助成	取組面積	（７年度） 25.81ha	（８年度） 26.0ha
1	花き（りんどう、宿根かすみそう、スターチス、カラー） （基幹作物）	重点振興作物 産地維持推進助成	取組面積	（７年度） 7.49ha	（８年度） 8.00ha
2	そば （基幹作物）	産地化拡大助成	取組面積 農産物検査１等比率	（７年度） 11.16ha （７年度） 94%	（８年度） 15.00ha （８年度） 95%
3	WCS用稲 （基幹作物）	資源循環 （耕畜連携）	取組面積	（７年度） 28.85ha	（８年度） 32.00ha
4	振興作物（野菜（対象作物は 別紙３のとおり）） （基幹作物）	振興作物助成	助成面積	（７年度） 1.48ha	（８年度） 2.0ha
4	振興作物（花き（対象作物は 別紙３のとおり）） （基幹作物）	振興作物助成	助成面積	（７年度） 1.06ha	（８年度） 1.50ha
4	振興作物（その他の高収益作物 （対象作物は別紙３のとおり）） （基幹作物）	振興作物助成	助成面積	（７年度） 0.16ha	（８年度） 0.25ha
5	飼料用米 （基幹作物）	飼料用米推進助成	取組面積 取組の定着率	（７年度） 0.19ha （７年度） 100%	（８年度） 3ha （８年度） 95%

※　必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。
※　目標期間は３年以内としてください。

7　産地交付金の活用方法の概要

都道府県名：福島県

協議会名：南会津町農業再生協議会

整理番号	使途 ※1	作期等 ※2	単価 （円/10a）	対象作物 ※3	取組要件等 ※4
1	重点振興作物産地維持推進助成	1	8,000	野菜（トマト、アスパラガス） 花き（りんどう、宿根かすみそう、スターチス、カラー） （基幹作物）	・実需者等へ出荷・販売を行う。 ・植栽してから出荷・販売に至るまで一定期間（１年を超える期間）を要する作物については、排水対策を行うことや適正施肥の実施により、適切なほ場管理ができている場合、出荷・販売の目的に栽培したものとみなし、交付の対象とする。
2	産地化拡大助成	1	10,000	そば（基幹作物）	・実需者と出荷・販売契約を締結し、出荷・販売を行う。 ・農地集約よる団地化（面積1ha以上）
3	資源循環（耕畜連携）	3	15,000	WCS用稲（基幹作物）	・供給先（利用する畜産農家）の確保 ・資源循環（飼料生産水田への堆肥散布の取組） ・農地集約による団地化（面積1ha以上） ・収量向上に向けた取組として、適切な雑草の除草・防除を実施すること
4	振興作物助成	1	4,000	野菜、花き、その他の高収益作物 （対象作物は別紙3のとおり） （基幹作物）	・実需者等へ出荷・販売を行う。
5	飼料用米推進助成	1	7,000	飼料用米（基幹作物）	・実需者とは出荷・販売契約を締結すること ・生産者向上及びコスト削減のための課題に対する取組として、別紙4に掲げる取組のうち１つ以上に取組むこと。 ・加工用米等取組計画書が受理されていること

※1　二毛作及び耕畜連携を対象とする使途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は使途の名称に「〇〇〇（二毛作）」、耕畜連携の場合は使途の名称に「〇〇〇（耕畜連携）」と記入してください。
　　ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。
　　なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、使途の名称に「〇〇〇（耕畜連携・二毛作）」と記入してください。
※2　「作期等」は、基幹作を対象とする使途は「1」、二毛作を対象とする使途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする使途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする使途は「4」と記入してください。
※3　産地交付金の活用方法の明細（個票）の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。
※4　産地交付金の活用方法の明細（個票）の具体的要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。

別紙３
南会津町産地交付金対象作物一覧

「令和８年度振興作物リスト」

助成区分	対象作物			
重点振興作物 産地維持推進助成	トマト アスパラガス	りんどう 宿根かすみそう スターチス カラー		
産地化拡大助成	そば			
資源循環 （耕畜連携）	ＷＣＳ用稲			
振興作物助成	（野菜） キャベツ きゅうり にら ねぎ ブロッコリー かぼちゃ 赤カブ 行者にんにく さといも スイートコーン だいこん たまねぎ なす にんじん にんにく	はくさい ばれいしょ ミニトマト メロン 枝豆 おくら ズッキーニ ピーマン とうがらし さやいんげん 西洋わさび たらの芽 わらび うるい こごみ シオデ	（花き・花木） アスター カーネーション カキツバタ きく（小ぎくを含む） クジャクソウ グラジオラス しゃくやく バラ ヒペリカム ひまわり（販売用） リアトリス アストランチャー ユーカリ サワギキョウ ナルコユリ ワレモコウ アザミ エリンジウム ソリダゴ アジサイ マリーゴールド コティナス	（その他の高収益作物） えごま 花豆 黒豆
飼料用米推進助成	飼料用米			

（別紙4）

生産性向上及びコスト削減のための取組

（1）多収品種の導入

（2）密苗の導入

（3）プール育苗の導入

（4）堆肥施用

（5）流し込み施用

（6）立毛乾燥の実施